(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第3739213号

(P3739213)

(45)発行日　平成18年1月25日(2006.1.25)　(24)登録日　平成17年11月11日(2005.11.11)

(51)Int.Cl.		F I		
G06Q 30/00	(2006.01)	G06F	17/60	318C
G06Q 10/00	(2006.01)	G06F	17/60	326
G07G 1/01	(2006.01)	G06F	17/60	510
G07G 1/06	(2006.01)	G07G	1/01	301D
G07G 1/12	(2006.01)	G07G	1/06	D

請求項の数 7　(全 17 頁)　最終頁に続く

(21)出願番号　特願平10-246585
(22)出願日　平成10年9月1日(1998.9.1)
(65)公開番号　特開2000-76337(P2000-76337A)
(43)公開日　平成12年3月14日(2000.3.14)
審査請求日　平成14年2月15日(2002.2.15)

(73)特許権者　000005108
株式会社日立製作所
東京都千代田区丸の内一丁目６番６号
(74)代理人　100083552
弁理士　秋田　収喜
(72)発明者　森　大作
神奈川県横浜市都筑区加賀原二丁目２番
株式会社日立製作所　システム開発本部内

審査官　貝塚　涼

最終頁に続く

(54)【発明の名称】情報告知方法及びその実施装置並びにその処理プログラムを記録した媒体

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

情報記録媒体を利用する顧客の受けることのできるサービスである、情報記録媒体に付帯するサービスについて、その内容を告知する情報告知方法において、

情報記録媒体に付帯するサービスの告知情報を識別し店舗間での取引遷移に対応した告知コードと、その告知コードの情報記録媒体への登録時に生成した登録日とを情報記録媒体読み書き装置により当該情報記録媒体に格納し、顧客が情報記録媒体を用いて取引を行う際にその顧客の情報記録媒体から情報記録媒体読み書き装置により告知コードを読み出し、

前記読み出した告知コードの登録日が前記告知情報の記憶装置への登録時に生成され当該記憶装置に格納されている登録日よりも新しく当該取引の日時から特定期間以内にある場合に、当該告知コードに対応する告知情報を表示装置により表示し、

前記読み出した告知コードの登録日が前記告知情報の登録日よりも古いか若しくは当該取引の日時から特定期間経過したものである場合に、告知が推奨される他の告知情報を表示装置により表示することを特徴とする情報告知方法。

【請求項２】

前記情報記録媒体に付帯するサービスに付加することのできるサービスである付加サービスについて、前記告知情報に示された付加サービスを要求する応答が顧客からあった場合に、当該付加サービスを識別する告知コードを申し込み情報として情報記録媒体読み書き装置により前記情報記録媒体に格納し、前記取引処理が終了した後に前記格納した告知

コードを情報記録媒体読み書き装置により当該情報記録媒体から読み出して当該告知コードに対応する付加サービスの申し込み処理を行うことを特徴とする請求項１に記載された情報告知方法。

【請求項３】

前記情報記録媒体に格納された告知コードは、その情報記録媒体を用いて行われた取引履歴情報中の特定の取引パターンに対応する付帯サービスの告知情報を、記憶装置中の告知ルール情報により識別するものであることを特徴とする請求項１または請求項２のいずれかに記載された情報告知方法。

【請求項４】

情報記録媒体を利用する顧客の受けることのできるサービスである、情報記録媒体に付帯するサービスについて、そのサービスに付加されるサービスの処理を受け付ける付加サービス処理装置において、

告知情報に示された付加サービスを識別し店舗間での取引遷移に対応した告知コードを申し込み情報として情報記録媒体から読み出す申し込み情報読み出し処理部と、前記読み出した告知コードに対応する申し込み画面を表示し、前記告知コードに対応する付加サービスの申し込み処理を行う申し込み処理部とを備えることを特徴とする付加サービス処理装置。

【請求項５】

情報記録媒体を利用する顧客の受けることのできるサービスである、情報記録媒体に付帯するサービスについて、その内容を告知する為の取引履歴情報を蓄積するセンタシステムにおいて、

情報記録媒体を使用して行われた取引の店舗間での遷移を示す取引情報を各顧客毎に取引履歴情報として格納する履歴情報格納処理部と、前記格納された取引履歴情報中の取引履歴パターンが特定の取引パターンと一致する場合に、当該取引パターンに対応する付帯サービスの告知情報を識別する告知コードを当該情報記録媒体に格納する為の指示を送信する告知コード更新指示部とを備えることを特徴とするセンタシステム。

【請求項６】

情報記録媒体を利用する顧客の受けることのできるサービスである、情報記録媒体に付帯するサービスについて、そのサービスに付加されるサービスの処理を受け付ける付加サービス処理装置としてコンピュータを機能させる為のプログラムを記録した媒体において、

告知情報に示された付加サービスを識別し店舗間での取引遷移に対応した告知コードを申し込み情報として情報記録媒体から読み出す申し込み情報読み出し処理部と、前記読み出した告知コードに対応する申し込み画面を表示し、前記告知コードに対応する付加サービスの申し込み処理を行う申し込み処理部としてコンピュータを機能させる為のプログラムを記録したことを特徴とする媒体。

【請求項７】

情報記録媒体を利用する顧客の受けることのできるサービスである、情報記録媒体に付帯するサービスについて、その内容を告知する為の取引履歴情報を蓄積するセンタシステムとしてコンピュータを機能させる為のプログラムを記録した媒体において、

情報記録媒体を使用して行われた取引の店舗間での遷移を示す取引情報を各顧客毎に取引履歴情報として格納する履歴情報格納処理部と、前記格納された取引履歴情報中の取引履歴パターンが特定の取引パターンと一致する場合に、当該取引パターンに対応する付帯サービスの告知情報を識別する告知コードを当該情報記録媒体に格納する為の指示を情報告知装置に送信する告知コード更新指示部としてコンピュータを機能させる為のプログラムを記録したことを特徴とする媒体。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明はＩＣカードに付帯する各種サービス等をＩＣカードの保有者に知らしめる情報告

知システムに関し、特にＩＣカードとＰＯＳ（Ｐｏｉｎｔ　Ｏｆ　Ｓａｌｅｓ）端末やＭＭＳ（Ｍｕｌｔｉ　Ｍｅｄｉａ　Ｓｔａｔｉｏｎ）等の取引装置の組み合わせに用いて好適な情報告知システムに適用して有効な技術に関するものである。

【０００２】

【従来の技術】

クレジットカード等に付帯する各種サービスの告知は、毎月送付されてくる利用明細書に添付されて会員に郵送されている。これらの情報は会員の居住地域を考慮し、その地域の提携店舗で受けられる割引サービス、イベント情報等を紹介している。

【０００３】

また、保険等のカードに付帯するサービスは、カードのランクによって保険種目や保険金額が決まっている。この場合、カードの会員になると同時に被保険者となるため、契約の手間が省ける等の利点がある。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】

かかる従来の手続きでは、次の様な問題がある。すなわち、毎月郵送されてくる各種告知や、カードに付帯するサービスは多岐に渡っており、会員がその内容を認識するには能動的にそれらの内容を熟読する必要がある。しかし、郵送されてくる告知情報は、広い範囲の地域で会員を捉えた結果の情報であり、会員の嗜好やライフサイクルを反映した結果にはなっていない。そのため、会員の興味を引くことは難しく、サービス内容を効率的に会員に知らしめることはできていない。

【０００５】

また、手続きの煩わしさから、適切なタイミングでカードのランクアップをしていないので、ライフサイクルが変わったにも関わらず、不足したサービスしか受けることができない場合がある。特に、結婚、子供の有無、昇格等ライフサイクルが変わると、必要となる保険は変わってくる。しかし、カードに付帯する保険を変える為には、カードのランクアップ手続きや郵送されてくる告知を熟読した結果として必要性を認識し、保険に申し込む必要がある。

【０００６】

この様に、従来の方法では、会員が必要としている告知を効率的に認識させることはできていなかった。

【０００７】

本発明の目的は上記問題を解決し、顧客が必要としている各種サービスや情報記録媒体に付帯するサービスを顧客に効率的に告知することが可能な技術を提供することにある。

【０００８】

【課題を解決するための手段】

本発明は、顧客の情報記録媒体に付帯するサービスの内容を告知する情報告知システムにおいて、情報記録媒体に格納された告知コードにより、その情報記録媒体に付帯するサービスの告知情報を表示するものである。

【０００９】

本発明の情報告知システムでは、まずＩＣカード等の情報記録媒体に付帯するサービスの告知情報を識別する為の告知コードを当該情報記録媒体に格納しておく。

【００１０】

なお告知コードを格納する際には、特定の取引パターンに対応する付帯サービスを予め告知ルールとして定めておき、その情報記録媒体を用いて行われた取引履歴情報中のパターンが前記特定の取引パターンに一致した場合に対応する付帯サービスの告知情報を表示するものとして、前記告知情報を識別する告知コードを格納して取引履歴に適した告知を行うこととしても良い。

【００１１】

顧客が情報記録媒体を用いて取引を行う際には、その顧客の情報記録媒体から告知コードを読み出し、前記読み出した告知コードに対応する告知情報を当該情報記録媒体による取

引中に表示する。

【００１２】

前記の様に本発明では、多岐に渡る告知情報の内、その顧客が所持している情報記録媒体に格納された告知コードに対応した告知情報が取引中に自動的に表示されるので、顧客は毎月郵送されてくる各種告知やカードに付帯するサービス等の内容を能動的に熟読する必要がない。

【００１３】

また、取引履歴に応じて告知コードを格納すれば、取引履歴は顧客の嗜好やライフサイクルを反映した内容となっているので、顧客の興味を引く告知を行うことができ、サービス内容を効率的に顧客に知らしめることが可能である。

【００１４】

以上の様に本発明の情報告知システムによれば、情報記録媒体に付帯するサービスの告知情報を顧客毎の告知コードによって表示するので、顧客が必要としている各種サービスや情報記録媒体に付帯するサービスを顧客に効率的に告知することが可能である。

【００１５】

【発明の実施の形態】

以下にＣＡＦＩＳ（Ｃｒｅｄｉｔ　Ａｎｄ　Ｆｉｎａｎｃｅ　Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｏｎ　Ｓｙｓｔｅｍ）を介して接続されている取引装置（ＰＯＳ端末、ＭＭＳ）とセンタシステムに適応した一実施形態の情報告知システムについて説明する。

【００１６】

図１は本実施形態の情報告知システムの概略構成を示す図である。図１に示す様に本実施形態の情報告知システムは、ＩＣカード２０００と、ＰＯＳ端末２１００と、ＭＭＳ２２００と、センタシステム２３００とを有している。

【００１７】

ＩＣカード２０００は、ＰＯＳ端末２１００との取引を行う為の情報と、当該カードに付帯するサービスの内容を告知する為のデータを記録した情報記録媒体である。ＰＯＳ端末２１００は、顧客のＩＣカード２０００に付帯するサービスの内容を表示する情報告知装置である。

【００１８】

ＭＭＳ２２００は、顧客のＩＣカード２０００に付帯するサービスに付加されるサービスの処理を受け付ける付加サービス処理装置である。センタシステム２３００は、顧客のＩＣカード２０００に付帯するサービスの内容を告知する為の取引履歴情報を蓄積する装置である。

【００１９】

ＩＣカード２０００は、制御装置２０１０と、本人情報蓄積部２０２０と、告知コード情報蓄積部２０３０と、申し込み情報蓄積部２０４０とを有している。

【００２０】

制御装置２０１０は、ＩＣチップに内蔵された制御回路であり、ＩＣチップに格納されているプログラムに従ってＰＯＳ端末２１００やＭＭＳ２２００からのデータの取り出し、記録及び検査を制御する回路である。

【００２１】

本人情報蓄積部２０２０は、本人情報を蓄積するＩＣチップ内の記憶回路である。告知コード情報蓄積部２０３０は、告知コード情報を蓄積するＩＣチップ内の記憶回路である。申し込み情報蓄積部２０４０は、申込情報を蓄積するＩＣチップ内の記憶回路である。

【００２２】

ＰＯＳ端末２１００は、カードリーダ・ライタ２１１０と、制御装置２１２０と、通信装置２１３０と、表示器２１４０と、告知情報蓄積部２１５０と、メモリ２１６０とを有している。

【００２３】

カードリーダ・ライタ２１１０は、挿入されたＩＣカード２０００のＩＣチップに対して

データの読み書きを行う装置である。制御装置２１２０は、内部に格納されているプログラムに従ってＰＯＳ端末２１００の周辺機器からのデータの取り出し、記録及び検査を制御する装置である。

【００２４】

通信装置２１３０は、ネットワークを介してセンタシステム２３００との間で通信を行う装置である。表示器２１４０は、ＰＯＳ端末２１００に接続された告知情報蓄積部２１５０が格納している画面情報等を表示したり、顧客からの要求を受け付ける装置である。

【００２５】

告知情報蓄積部２１５０は、告知情報を蓄積する記憶装置である。メモリ２１６０は、ＰＯＳ端末２１００の動作を制御するプログラムをロードする記憶装置である。

【００２６】

またＰＯＳ端末２１００は、告知コード読み出し処理部２１６１と、情報告知処理部２１６２と、告知コード格納処理部２１６３とを有している。

【００２７】

告知コード読み出し処理部２１６１は、顧客がＩＣカード２０００を用いて取引を行う際にその顧客のＩＣカード２０００から告知コードを読み出す処理部である。情報告知処理部２１６２は、前記読み出した告知コードに対応する告知情報をＩＣカード２０００による取引中に表示する処理部である。告知コード格納処理部２１６３は、ＩＣカード２０００に付帯するサービスの告知情報を識別する為の告知コードをＩＣカード２０００に格納する処理部である。

【００２８】

ＰＯＳ端末２１００を告知コード読み出し処理部２１６１、情報告知処理部２１６２及び告知コード格納処理部２１６３として機能させる為のプログラムは、ＣＤ－ＲＯＭ等の記録媒体に記録され磁気ディスク等に格納された後、メモリにロードされて実行されるものとする。なお前記プログラムを記録する媒体はＣＤ－ＲＯＭ以外の他の媒体でも良い。

【００２９】

ＭＭＳ２２００は、カードリーダ・ライタ２２１０と、制御装置２２２０と、通信装置２２３０と、表示器２２４０と、申込画面蓄積部２２５０と、メモリ２２６０とを有している。

【００３０】

カードリーダ・ライタ２２１０は、挿入されたＩＣカード２０００のＩＣチップに対してデータの読み書きを行う装置である。制御装置２２２０は、内部に格納されているプログラムに従ってＭＭＳ２２００の周辺機器からのデータの取り出し、記録及び検査を制御する装置である。

【００３１】

通信装置２２３０は、ネットワークを介してセンタシステム２３００との間で通信を行う装置である。表示器２２４０は、ＭＭＳ２２００に接続された申込画面蓄積部２２５０が格納している画面情報等を表示したり、顧客からの要求を受け付ける装置である。

【００３２】

申込画面蓄積部２２５０は、申込画面情報を蓄積する記憶装置である。メモリ２２６０は、ＭＭＳ２２００の動作を制御するプログラムをロードする記憶装置である。

【００３３】

またＭＭＳ２２００は、申し込み情報読み出し処理部２２６１と、申し込み処理部２２６２とを有している。

【００３４】

申し込み情報読み出し処理部２２６１は、告知情報に示された付加サービスを識別する告知コードを申し込み情報としてＩＣカード２０００から読み出す処理部である。申し込み処理部２２６２は、前記読み出した告知コードに対応する申し込み画面を表示し、前記告知コードに対応する付加サービスの申し込み処理を行う処理部である。

【００３５】

ＭＭＳ２２００を申し込み情報読み出し処理部２２６１及び申し込み処理部２２６２として機能させる為のプログラムは、ＣＤ－ＲＯＭ等の記録媒体に記録され磁気ディスク等に格納された後、メモリにロードされて実行されるものとする。なお前記プログラムを記録する媒体はＣＤ－ＲＯＭ以外の他の媒体でも良い。

【００３６】

センタシステム２３００は、通信装置２３１０と、制御装置２３２０と、顧客情報蓄積部２３３０と、取引履歴蓄積部２３４０と、告知パターン情報蓄積部２３５０と、告知ルール蓄積部２３６０と、メモリ２３７０とを有している。

【００３７】

通信装置２３１０は、ネットワークを介してＰＯＳ端末２１００及びＭＭＳ２２００との間で通信を行う装置である。制御装置２３２０は、内部に格納されているプログラムに従ってセンタシステム２３００全体の動作を制御する装置である。

【００３８】

顧客情報蓄積部２３３０は、顧客情報を蓄積する記憶装置である。取引履歴蓄積部２３４０は、取引履歴を蓄積する記憶装置である。告知パターン情報蓄積部２３５０は、告知パターン情報を蓄積する記憶装置である。

【００３９】

告知ルール蓄積部２３６０は、告知ルールを蓄積する記憶装置である。メモリ２３７０は、センタシステム２３００の動作を制御するプログラムをロードする記憶装置である。

【００４０】

またセンタシステム２３００は、履歴情報格納処理部２３７１と、告知コード更新指示部２３７２とを有している。

【００４１】

履歴情報格納処理部２３７１は、ＩＣカード２０００を使用して行われた取引の内容を示す取引情報を各顧客毎に取引履歴情報として格納する処理部、である。告知コード更新指示部２３７２は、前記格納された取引履歴情報中の取引履歴パターンが特定の取引パターンと一致する場合に、当該取引パターンに対応する付帯サービスの告知情報を識別する告知コードをＩＣカード２０００に格納する為の指示をＰＯＳ端末２１００に送信する処理部である。

【００４２】

センタシステム２３００を履歴情報格納処理部２３７１及び告知コード更新指示部２３７２として機能させる為のプログラムは、ＣＤ－ＲＯＭ等の記録媒体に記録され磁気ディスク等に格納された後、メモリにロードされて実行されるものとする。なお前記プログラムを記録する媒体はＣＤ－ＲＯＭ以外の他の媒体でも良い。

【００４３】

図２は本実施形態のある時点におけるＩＣカード２０００の情報格納状況例を示す図である。カード番号３１は、本人情報蓄積部２０２０が格納している一項目であり、カード会員に付与されている固有の識別子である。告知コード３２は、告知コード情報蓄積部２０３０が格納している一項目であり、表示器２１４０が表示する画面のキー情報である。この情報は、店舗での取引きの度にＩＣカード２０００に格納される。登録日３３は、告知コード３２に対応する情報であり、告示情報自体が登録された日を意味している。告知コード３４は、申し込み情報蓄積部２０４０が格納している情報であり、ＰＯＳ端末２１００等での取引き最中に顧客が要求した告知情報を示している。

【００４４】

図３は本実施形態の告知情報蓄積部２１５０に蓄積された告知情報の一例を示す図である。図３はＰＯＳ端末２１００の告知情報蓄積部２１５０が管理しているファイルの内容を表しており、そのファイルは表示器２１４０が表示する各種告知情報等を格納している。

【００４５】

告知コード４１は、顧客に対する告知情報のキー情報である。推奨告知４２は、店舗等のローカルなエリアで告知すべきであるか否かを判別するものであり、「１」はローカルな

エリアで設定されたものを意味し、「０」はＩＣカード２０００に付帯された全てのサービスを対象とするものである。告知画面情報４３は、表示器２１４０に表示する画面情報であり、ＨＴＭＬ（Ｈｙｐｅｒ　ＴｅｘｔＭａｒｋｕｐ　Ｌａｎｇｕａｇｅ）等の言語で記述されている。登録日４４は、告知情報蓄積部２１５０のレコードが登録された日付を意味している。

【００４６】

図４、図５及び図６は、ＰＯＳ端末２１００の表示器２１４０が表示する画面イメージを表している。

【００４７】

図４は本実施形態の保険商品告知画面の一例を示す図である。図４の例では、カメラや日焼け止めを購入してＩＣカード２０００を用いて精算を行っているときにＰＯＳ端末２１００の表示器２１４０に表示される告知コード４１「００２３」の告知情報を表しており、詳細ボタン５１が押されることにより更に詳細な告知情報が表示されることを示している。

【００４８】

図５は本実施形態の保険商品告知画面の追加例を示す図である。図５の例では、図４に示した告知情報の表示で詳細ボタン５１が押された場合に、ＰＯＳ端末２１００の表示器２１４０に表示される告知コード４１「００２４」の告知情報を表しており、予約ボタン６１が押されることにより、付帯サービスの「海外旅行障害保険」に付加することのできる「安心プラン」という名称の付加サービスが予約されることを示している。

【００４９】

図６は本実施形態の推奨告知情報画面の一例を示す図である。図６の例では、ＩＣカード２０００中の告知コード３２が古い場合にＰＯＳ端末２１００の表示器２１４０に表示される告知コード４１「００１２」の告知情報を表しており、推奨告知４２が「１」で登録日４４が最も新しい告知情報の表示を示している。

【００５０】

図７は本実施形態の申込画面蓄積部２２５０に蓄積された申込画面情報の一例を示す図である。図７はＭＭＳ２２００の申込画面蓄積部２２５０が管理しているファイルの内容を表しており、そのファイルは表示器２２４０に表示する各種画面情報等を格納している。

【００５１】

告知コード７１は、ＰＯＳ端末２１００における告知情報蓄積部２１５０の告知コード４１に相当し、顧客の要求に対応する申込画面のキー情報である。申込画面情報７２は、表示器２２４０に表示する画面情報であり、ＨＴＭＬ等の言語で記述されている。なお図７の例は、図５に示した告知情報の表示で予約することができる付加サービスの「安心プラン」を申し込む際の画面情報を表している。

【００５２】

図８は本実施形態の保険申し込み画面の一例を示す図である。図８はＭＭＳ２２００の表示器２２４０が表示する申込画面情報７２の画面イメージを表している。申込ボタン８１は、ＭＭＳ２２００の表示器２２４０が表示した保険プランに対し、顧客が申し込み要求を伝える為のボタンである。キャンセルボタン８２は、保険プランに対して見直しの意思を伝える為のボタンである。

【００５３】

図９は本実施形態の顧客情報蓄積部２３３０に蓄積された顧客情報の一例を示す図である。図９はセンタシステム２３００の顧客情報蓄積部２３３０が管理しているファイルの内容を表しており、そのファイルは顧客の基本情報やＩＣカード２０００に付帯するサービス情報等を格納している。

【００５４】

カード番号１０１は、各顧客に付与された顧客の識別子である。カードランク１０２は、顧客が保有するＩＣカード２０００の種類であり、付帯されるサービスの種類等によって決まるものである。氏名１０３、年齢１０４、住所１０５は、その名の通り顧客固有の基

本情報である。付帯サービス１０６は、ＩＣカード２０００に付帯するサービスや顧客の意向等によって一時的に付与されているサービスの状況を示すものである。

【００５５】

図１０は本実施形態の取引履歴蓄積部２３４０に蓄積された取引履歴の一例を示す図である。図１０はセンタシステム２３００の取引履歴蓄積部２３４０が管理しているファイルの内容を表しており、そのファイルはＩＣカード２０００を利用できる店舗でのカード利用状況等を管理している。

【００５６】

カード番号１１１は、顧客情報蓄積部２３３０が管理しているカード番号１０１に相当し、それと同様の意味である。日付１１２は、ＩＣカード２０００を利用した年月日のことである。時間１１３は、ＩＣカード２０００を利用した時刻のことである。店コード１１４は、店舗のカテゴリを意味する識別子である。店名１１５は、店舗に付与されている固有の名前である。金額１１６は、店舗で利用した取引金額のことである。

【００５７】

図１１は本実施形態の告知パターン情報蓄積部２３５０に蓄積された告知コード情報の一例を示す図である。図１１はセンタシステム２３００の告知パターン情報蓄積部２３５０が管理しているテーブルを表しており、このテーブルは時系列を考慮したＩＣカード２０００の利用パターンとＰＯＳ端末２１００の表示器２１４０に告知する画面情報の告知コード４１を関連付け、顧客に対する告知情報を判断する為のものである。

【００５８】

告知コード１２１は、ＰＯＳ端末２１００の表示器２１４０に告知する画面情報の告知コード４１に相当し、それと同様の意味を有している。取引パターン１２２は、所定数の店舗間における取引推移を時系列にパターン化したものであり、店コード１１４から構成されている。

【００５９】

図１２は本実施形態の告知ルール蓄積部２３６０に蓄積された告知ルールの一例を示す図である。図１２はセンタシステム２３００の告知ルール蓄積部２３６０が管理しているテーブルを表しており、このテーブルはＩＣカード２０００に付帯するサービスの告知や新たなサービスへの加入を知らしめる為のものである。

【００６０】

付帯サービス１３１は、顧客情報蓄積部２３３０の付帯サービス１０６に相当し、それと同様の意味を有している。告知ルール１３２は、取引履歴蓄積部２３４０の店コード１１４から構成され、顧客の履歴情報を分析した結果として、情報告知される付帯サービス１３１に対応する店舗間での時系列の取引推移をルール化したものである。

【００６１】

図１２の矢印付きのP3～P5等の記号は店コード１１４へのポインタを表している。例えば付帯サービス１３１の「海外旅行安心プラン」は、店コード１１４が「００８１」、「００８０」、「００７８」となる様な取引遷移、すなわち「△△トラベルグッズ」、「○×観光」、「成田××レストラン」でＩＣカード２０００を使用した場合に告知されることを示しており、これは旅行用品を購入して旅行ツアーを申し込み、空港近辺で食事が行われた場合には顧客が海外旅行をするものとして「海外旅行安心プラン」の情報告知が行われることを示している。

【００６２】

図１３は本実施形態のＰＯＳ端末２１００の処理手順を示すフローチャートである。図１３のフローチャートに基いて図１の各部の動作を説明する。ここで想定する主な場面は、カード会員がＩＣカード２０００の提携店舗を訪問し、取引き（精算）前にＩＣカード２０００を店員に渡し、信用照会等の精算処理の間に顧客へ各種サービス情報を告知することである。

【００６３】

まず、顧客が訪れた店舗の店員によってＰＯＳ端末２１００のカードリーダ・ライタ２１

１０にＩＣカード２０００が挿入されると、ステップ１０１０でＰＯＳ端末２１００の告知コード読み出し処理部２１６１は、カードリーダ・ライタ２１１０を介してＩＣカード２０００に告知コード情報の読み出しを指示する。

【００６４】

図１４は本実施形態のＩＣカード２０００の処理手順を示すフローチャートである。ステップ１４０１でＩＣカード２０００の制御装置２０１０は、ＰＯＳ端末２１００から告知コード情報読み出し指示を受信したかどうかを調べ、告知コード情報読み出し指示を受信した場合にはステップ１４０２に進む。

【００６５】

ステップ１４０２では、告知コード情報蓄積部２０３０に格納されている告知コード３２と登録日３３を読み出し、ステップ１４０３でカードリーダ・ライタ２１１０を介してＰＯＳ端末２１００にそれらの情報を引き渡す。なお告知コード情報蓄積部２０３０の告知コード３２は後述する様にセンタシステム２３００からの指示により格納されているものとする。

【００６６】

ＰＯＳ端末２１００の告知コード読み出し処理部２１６１は、ＩＣカード２０００から送信された告知コード３２と登録日３３を受け取る（ステップ１０１０）。

【００６７】

そして、ＰＯＳ端末２１００の情報告知処理部２１６２は、告知情報蓄積部２１５０の告知コード４１を検索し、ＩＣカード２０００から読み取った告知コード３２に一致したレコードの登録日４４とＩＣカード２０００から読み取った登録日３３を検査する（ステップ１０２０）。例えば、図２の告知コード３２は図３の告知コード４１「００２３」に該当するため、そのレコードの登録日４４「１９９８　０７　０１」とＩＣカード２０００から読み取った登録日３３「１９９８　０７　１１」を検査する。

【００６８】

前記検査の結果、ＩＣカード２０００から読み取った登録日３３が告知情報蓄積部２１５０の告知コード４１の登録日４４より新しく、登録日３３が当該取引日時から一年以内等の特定期間以内のものである場合は、該当するレコードの告知画面情報４３を表示器２１４０に表示する（ステップ１０３０）。例えば、ＩＣカード２０００から読み出した登録日３３「１９９８　０７　１１」は、告知情報蓄積部２１５０の登録日４４「１９９８　０７　０１」より新しいので、登録日３３が前記特定期間内である場合には告知コード４１「００２３」の属する告知画面情報４３を図４に示した様に表示器２１４０へ表示する。

【００６９】

一方、ＩＣカード２０００から読み取った登録日３３が告知情報蓄積部２１５０の告知コード４１より古いか若しくは登録日３３が当該取引日時から特定期間経過したものである場合は、推奨告知４２にフラグが立っていることを条件とし、登録日４４が最新のものを表示器２１４０に表示する（ステップ１１４０）。例えば、推奨告知４２にフラグが立っているレコードの登録日４４の中で最新の情報は、告知コード４１「００１２」が属するレコードなので、そのレコードの告知画面情報４３を図６に示す様に、表示器２１４０に表示する。尚、センタシステム２３００の顧客情報蓄積部２３３０で管理しているカードランク１０２をＩＣカード２０００に格納し、その情報を活用することによって推奨告知４２の内容を顧客毎に変えることは可能である。

【００７０】

次にＰＯＳ端末２１００の情報告知処理部２１６２は、精算処理が終了したか否か検査する（ステップ１０４０）。検査の結果、精算処理が終了していなければ、情報告知処理部２１６２はステップ１０３０またはステップ１１４０で表示器２１４０へ表示した告知画面情報４３に対し、顧客からの要求があったか否か検査する（ステップ１０５０）。

【００７１】

ＰＯＳ端末２１００の表示器２１４０には、顧客からの要求を受け付ける為にタッチパネルの機能を持たせている。つまり、このタッチパネルに顧客からの要求があったならば、

情報告知処理部２１６２は、表示器２１４０から顧客の要求を受け付け、表示している告知に対応付けられた告知コード４１の告知画面情報４３を表示器２１４０に表示する（ステップ１０６０）。例えば、ステップ１０３０において、顧客によって図４の詳細ボタン５１が選択され、それに対応付けられた追加の告知が告知画面情報４３「００２４」であるならば、図５の画面を表示器２１４０に表示する。またステップ１０５０で顧客からの要求がなければステップ１１４０の処理へ進む。

【００７２】

更に、ステップ１０７０で情報告知処理部２１６２は、表示器２１４０に表示した告知に対して顧客からの要求があるか否か検査し、顧客からの要求がある場合にはステップ１０８０に進み、顧客からの要求がない場合にはステップ１１４０へ進む。

【００７３】

ステップ１０８０でＰＯＳ端末２１００の告知コード格納処理部２１６３は、その告知画面情報４３の属する告知コード４１をカードリーダ・ライタ２１１０を介してＩＣカード２０００に引き渡す。

【００７４】

一方、ステップ１４０４でＩＣカード２０００は、ＰＯＳ端末２１００から申し込み情報を受信したかどうかを調べ、申し込み情報を受信した場合にはステップ１４０５に進む。

【００７５】

ステップ１４０５でＩＣカード２０００は、申し込み情報として読み取った告知コード４１を申し込み情報蓄積部２０４０に格納する。例えば、顧客によって図５の予約ボタン６１が選択されたならば、図３の告知コード４１「００２４」を図２に示す様に告知コード３４として格納する。

【００７６】

ＰＯＳ端末２１００の情報告知処理部２１６２は、ステップ１０４０で精算処理が終了していれば、ＩＣカード２０００の本人情報蓄積部２０２０に格納されていたカード番号３１と、ＰＯＳ端末２１００において精算された取引金額や取引時間等の取引情報とを、通信装置２１３０及び通信装置２３１０を介してセンタシステム２３００に送信する（ステップ１１１０）。

【００７７】

図１５は本実施形態のセンタシステム２３００の処理手順を示すフローチャートである。ステップ１５０１でセンタシステム２３００の履歴情報格納処理部２３７１は、ＰＯＳ端末２１００から送信されてきた本人情報及び取引情報を受信し、ステップ１５０２でその本人情報及び取引情報であるカード番号１１１、日付１１２、時間１１３、店コード１１４、店名１１５及び金額１１６を取引履歴蓄積部２３４０に書込む。

【００７８】

そしてステップ１５０３でセンタシステム２３００の告知コード更新指示部２３７２は、その時点から過去に遡り、店舗間における取引履歴のパターンを告知ルール蓄積部２３６０より検索する。

【００７９】

告知コード更新指示部２３７２は、取引履歴蓄積部２３４０中の取引履歴パターンに一致した告知ルール１３２が見つかれば、その告知ルール１３２が示すところの付帯サービス１３１が顧客に付与されているか否かを顧客情報蓄積部２３３０の付帯サービス１０６より判定する。

【００８０】

ここでそのサービスが顧客に付与されていなければ、告知コード更新指示部２３７２は、告知パターン情報蓄積部２３５０中で前記取引履歴パターンに該当する取引パターン１２２の告知コード１２１を通信装置２３１０及び通信装置２１３０を介してＰＯＳ端末２１００へ引き渡し、ＩＣカード２０００の告知コード３２の更新をＰＯＳ端末２１００に指示する（ステップ１５０４）。

【００８１】

例えば、店舗間におけるこれまでの取引履歴のパターンが「００８１」、「００８０」、「００７８」である場合には、その取引履歴パターンは告知ルール蓄積部２３６０の「海外旅行安心プラン」の告知ルール１３２に一致するので、図９の様に顧客情報蓄積部２３３０で「海外旅行安心プラン」が顧客に付与されていなければ、告知パターン情報蓄積部２３５０中の告知コード１２１「００２３」をＰＯＳ端末２１００へ引き渡してＩＣカード２０００の告知コード３２の更新を指示する。

【００８２】

ステップ１１２０でＰＯＳ端末２１００の情報告知処理部２１６２は、センタシステム２３００から送信された告知コード更新指示を受信する。

【００８３】

ステップ１１３０でＰＯＳ端末２１００の告知コード格納処理部２１６３は、受取った告知コード１２１をカードリーダ・ライタ２１１０を介してＩＣカード２０００へ書込み、ＰＯＳ端末２１００におけるプロセスは終了する（ステップ１１３０）。

【００８４】

一方、ステップ１４０６でＩＣカード２０００は、ＰＯＳ端末２１００から告知コード更新指示を受信したかどうかを調べ、告知コード更新指示を受信した場合には、受取った告知コード１２１を告知コード情報蓄積部２０３０に告知コード３２として格納する（ステップ１４０７）。

【００８５】

図１６は本実施形態のＭＭＳ２２００の処理手順を示すフローチャートである。顧客によってＩＣカード２０００がＭＭＳ２２００のカードリーダ・ライタ２２１０に挿入されると、ステップ１６０１でＭＭＳ２２００の申し込み情報読み出し処理部２２６１は、カードリーダ・ライタ２２１０を介してＩＣカード２０００に申し込み情報の読み出しを指示する。

【００８６】

ステップ１４０８でＩＣカード２０００の制御装置２０１０が申し込み情報の読み出し指示を受信すると、申し込み情報蓄積部２０４０に格納されている告知コード３４をステップ１４０９で読み取り、ステップ１４１０でカードリーダ・ライタ２２１０を介してＭＭＳ２２００の制御装置２２２０に引き渡す。

【００８７】

ＭＭＳ２２００の申し込み処理部２２６２は、申込画面蓄積部２２５０の告知コード７１を検索し、告知コード３４と同一のものが属するレコードの申込画面情報７２を表示器２２４０に表示する（ステップ１６０２）。例えば、図２の告知コード３４「００２４」に一致する告知コード７１は「００２４」であり、告知コード７１が属するレコードの申込画面情報７２を図８の様に表示器２２４０に表示する。

【００８８】

そして、顧客は画面が誘導する手順に従って申し込み手続きをする（ステップ１６０３）。例えば、顧客は表示器２２４０が表示する申込ボタン８１若しくはキャンセルボタン８２を選択することによって、保険の申し込み手続きが進められる。尚、申し込み処理の延長として、第一回保険料を電子決済等の手段によって納めることができる。

【００８９】

以上、ＰＯＳ端末２１００における顧客への告知から始まって、ＭＭＳ２２００でのサービス手続き終了に至るまでの処理によって本実施形態のプロセスは終了する。

【００９０】

上記の様に本実施形態では、告知コード情報をＩＣカード２０００の告知コード情報蓄積部２０３０に格納するものとして説明したが、センタシステム２３００側に格納しても同様の処理が可能である。

【００９１】

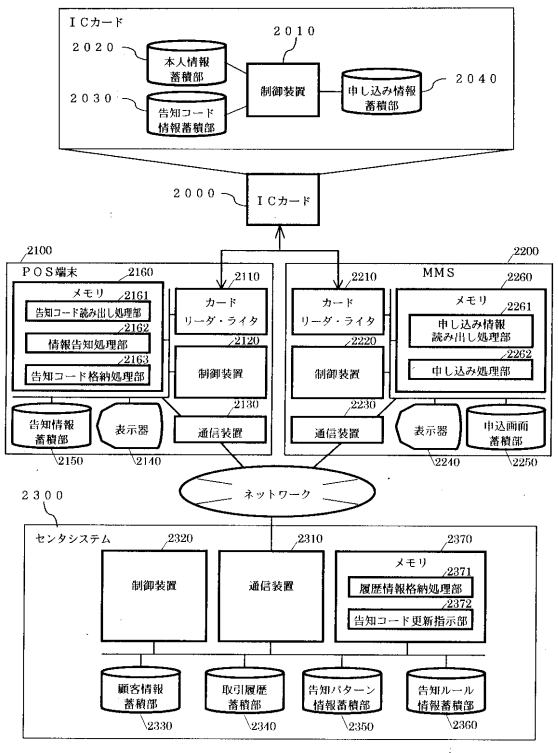
更に、以上の説明では、接触型のＩＣカード２０００を利用するものとして説明したが、非接触型のＩＣカード２０００を活用し、商品陳列棚の前等を通り過ぎたタイミングで同

様の処理が可能であることは言うまでもない。
【００９２】
以上説明した様に本実施形態の情報告知システムによれば、情報記録媒体に付帯するサービスの告知情報を顧客毎の告知コードによって表示するので、顧客が必要としている各種サービスや情報記録媒体に付帯するサービスを顧客に効率的に告知することが可能である。
【００９３】
【発明の効果】
本発明によれば情報記録媒体に付帯するサービスの告知情報を顧客毎の告知コードによって表示するので、顧客が必要としている各種サービスや情報記録媒体に付帯するサービスを顧客に効率的に告知することが可能である。
【図面の簡単な説明】
【図１】本実施形態の情報告知システムの概略構成を示す図である。
【図２】本実施形態のある時点におけるＩＣカード２０００の情報格納状況例を示す図である。
【図３】本実施形態の告知情報蓄積部２１５０に蓄積された告知情報の一例を示す図である。
【図４】本実施形態の保険商品告知画面の一例を示す図である。
【図５】本実施形態の保険商品告知画面の追加例を示す図である。
【図６】本実施形態の推奨告知情報画面の一例を示す図である。
【図７】本実施形態の申込画面蓄積部２２５０に蓄積された申込画面情報の一例を示す図である。
【図８】本実施形態の保険申し込み画面の一例を示す図である。
【図９】本実施形態の顧客情報蓄積部２３３０に蓄積された顧客情報の一例を示す図である。
【図１０】本実施形態の取引履歴蓄積部２３４０に蓄積された取引履歴の一例を示す図である。
【図１１】本実施形態の告知パターン情報蓄積部２３５０に蓄積された告知コード情報の一例を示す図である。
【図１２】本実施形態の告知ルール蓄積部２３６０に蓄積された告知ルールの一例を示す図である。
【図１３】本実施形態のＰＯＳ端末２１００の処理手順を示すフローチャートである。
【図１４】本実施形態のＩＣカード２０００の処理手順を示すフローチャートである。
【図１５】本実施形態のセンタシステム２３００の処理手順を示すフローチャートである。
【図１６】本実施形態のＭＭＳ２２００の処理手順を示すフローチャートである。
【符号の説明】
２０００…ＩＣカード、２１００…ＰＯＳ端末、２２００…ＭＭＳ、２３００…センタシステム、２０１０…制御装置、２０２０…本人情報蓄積部、２０３０…告知コード情報蓄積部、２０４０…申し込み情報蓄積部、２１１０…カードリーダ・ライタ、２１２０…制御装置、２１３０…通信装置、２１４０…表示器、２１５０…告知情報蓄積部、２１６０…メモリ、２１６１…告知コード読み出し処理部、２１６２…情報告知処理部、２１６３…告知コード格納処理部、２２１０…カードリーダ・ライタ、２２２０…制御装置、２２３０…通信装置、２２４０…表示器、２２５０…申込画面蓄積部、２２６０…メモリ、２２６１…申し込み情報読み出し処理部、２２６２…申し込み処理部、２３１０…通信装置、２３２０…制御装置、２３３０…顧客情報蓄積部、２３４０…取引履歴蓄積部、２３５０…告知パターン情報蓄積部、２３６０…告知ルール蓄積部、２３７０…メモリ、２３７１…履歴情報格納処理部、２３７２…告知コード更新指示部、３１…カード番号、３２…告知コード、３３…登録日、３４…告知コード、４１…告知コード、４２…推奨告知、４３…告知画面情報、４４…登録日、５１…詳細ボタン、６１…予約ボタン、７１…告知コ

ード、７２…申込画面情報、８１…申込ボタン、８２…キャンセルボタン、１０１…カード番号、１０２…カードランク、１０３…氏名、１０４…年齢、１０５…住所、１０６…付帯サービス、１１１…カード番号、１１２…日付、１１３…時間、１１４…店コード、１１５…店名、１１６…金額、１２１…告知コード、１２２…取引パターン、１３１…付帯サービス、１３２…告知ルール。

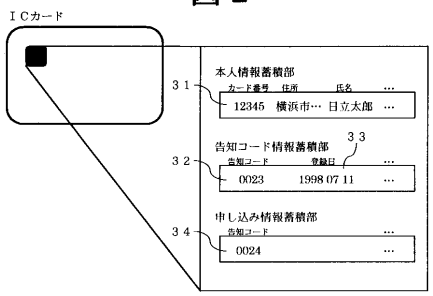
【図１】

図１



【図２】

図２



【図３】

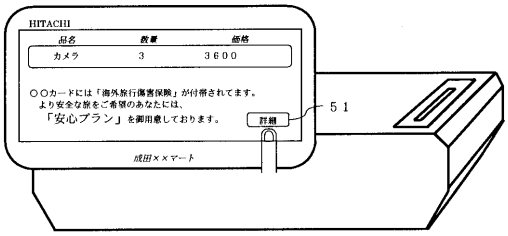
図３

告知情報蓄積部

41 告知コード	42 推奨告知	43 告知画面情報	44 登録日
…	…	…	…
0011	1	成田××マートおかげさまで創立５周年を迎えました。 ２千円以上お買い上げのお客様には、 素敵なプレゼントをもれなく贈呈します！	1998 07 05
0012	1	○○カードの会員に限り、旅行ガイドブックが 全品１０％ＯＦＦ！ 成田××ブックセンタがあなたを待ってます！	1998 07 07
…	…	…	…
0023	0	○○カードには「海外旅行傷害保険」が付帯されてます。 より安全な旅をご希望のあなたには、 「安心プラン」を御用意しております。 詳細	1998 07 01
0024	0	「安心プラン」 死亡・後遺症：5000 万円、携帯品損害：50 万円、 治療費用:100 万円… 予約	1998 07 01
…		…	…

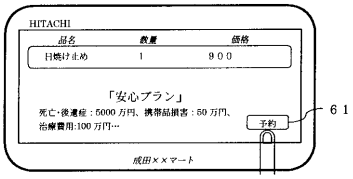
【図４】

図４



【図５】

図５



【図６】

図６



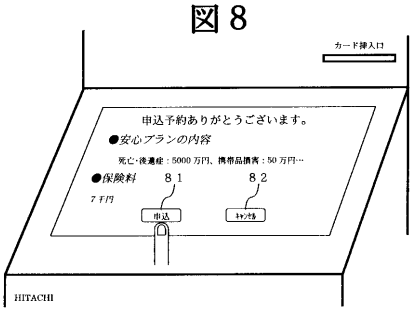
【図７】

図７

71 告知コード	72 申込画面情報
…	…
0024	申込予約ありがとうございます。 ●安心プランの内容 死亡・後遺症：5000万円、携帯品損害：50万円… ●保険料 7千円 申込 ｷｬﾝｾﾙ
…	…

【図８】

図８



【図９】

図９

101 ｶｰﾄﾞ番号	102 ｶｰﾄﾞﾗﾝｸ	103 氏名	104 年齢	105 住所	…	106 付帯ｻｰﾋﾞｽ			…
					…	海外旅行傷害保険	海外旅行安心ｱｼｽﾄ	スポーツ傷害保険	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
12345	B	日立太郎	30	横浜市…	…	1	0	0	…
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

【図１０】

図１０

111 カード番号	112 日付	113 時間	114 店コード	115 店名	116 金額	…
…	…	…	…	…	…	…
12345	1998 07 20	07:45	0077	成田××マート	4500	
12345	1998 07 20	07:00	0078	成田××レストラン	6000	
12345	1998 07 11	19:15	0080	○×観光	100000	…
12345	1998 07 09	19:30	0081	△△トラベルグッズ	35000	…
…	…	…	…	…	…	…

【図１１】

図１１

121 告知コード	122 取引パターン			
…	…	…	…	…
0023	0078	0080	0081	…
0024	0077	0078	0080	…
…	…	…	…	…

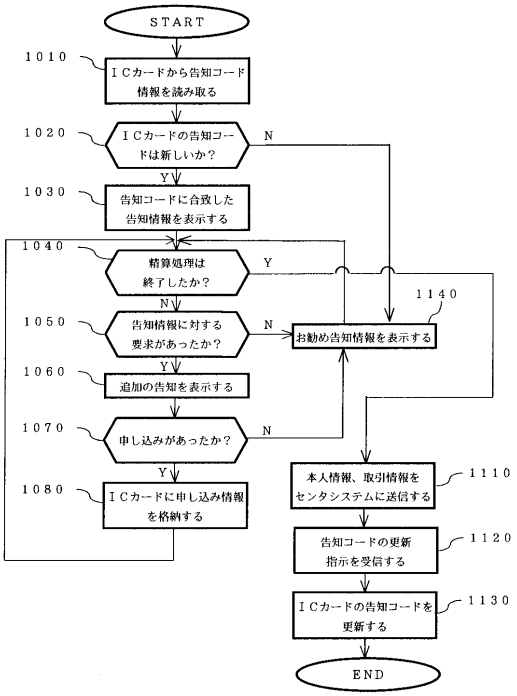
【図１２】

図１２

付帯サービス (131)	告知ルール (132)						
	…	0077	0078	0079	0080	0081	…
…	…	…	…	…	…	…	…
海外旅行傷害保険	…				P2	P1	…
海外旅行安心プラン	…		P5		P4	P3	…
スポーツ傷害保険	…			P6		P7	…
…	…	…	…	…	…	…	…

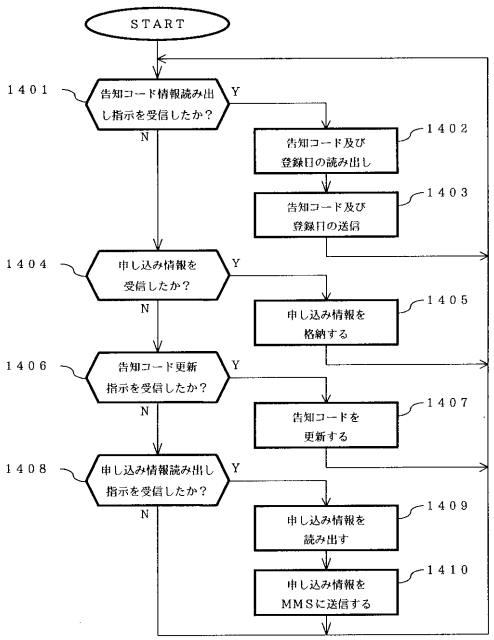
【図１３】

図１３



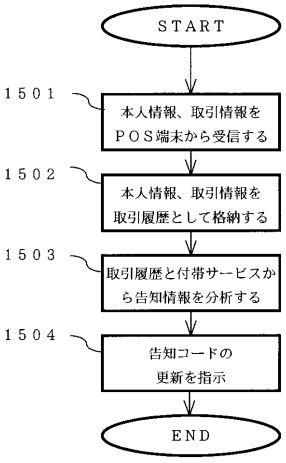
【図１４】

図１４



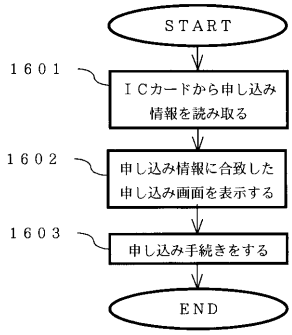
【図１５】

図１５



【図１６】

図１６


START
1601
ＩＣカードから申し込み情報を読み取る
1602
申し込み情報に合致した申し込み画面を表示する
1603
申し込み手続きをする
END

フロントページの続き

(51)Int.Cl. FI
G07G 1/12 321P

(56)参考文献 特開平１０－２１４３８３（ＪＰ，Ａ）
特開平０９－２３７２９８（ＪＰ，Ａ）
特開平０９－１５３０９４（ＪＰ，Ａ）
特開平０９－２３１２６４（ＪＰ，Ａ）
特開平０７－２００７０１（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl., ＤＢ名)
G06F 17/60
G07G 1/01
G07G 1/06
G07G 1/12